

# TOSHIBA

Leading Innovation >>>

第88期

2012年4月1日～2013年3月31日  
ビジネスレポート

東芝テック株式会社

<http://www.toshibatec.co.jp/>



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、2012年度（第88期）の当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2013年6月

取締役社長

鈴木 護

## ◆ 事業の概況

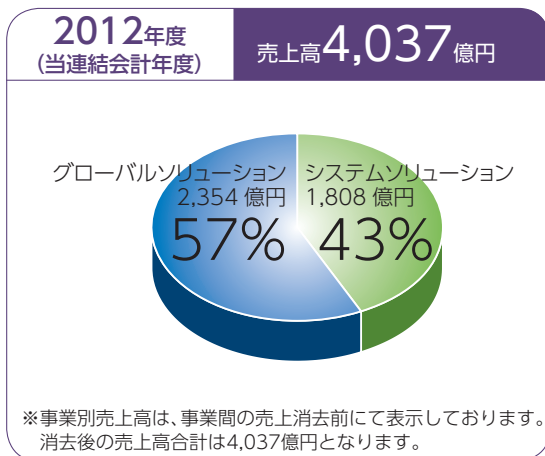
当連結会計年度の世界経済は、欧州において債務問題の長期化により景気が悪化するとともに、米国では本格的な景気回復には至らず、アジアでは総じて景気拡大テンポが鈍化いたしました。また、日本経済は、復興需要による下支えや昨年末からの円安等により一部に改善の動きが見られましたが、世界経済低迷に伴う輸出の悪化や個人消費の低迷などから、景気は厳しい状況が続きました。

このような状況下におきまして、当社グループは「ソリューション・サービスによる成長」の実現を目指して、事業規模の拡大に努めるとともに、国内外においてリソースや資産の効率化に努めることにより、収益力の更なる向上に鋭意努めてまいりました。

また、当社は、リテール市場において、高水準の商品・ソリューションをグローバルに展開するリテールソリューションのリーディング・カンパニーとなることを企図し、2012年8月1日付にて、International Business Machines Corporation (IBM) から同社のリテール・ストア・ソリューション (RSS) 事業を譲受けました。

連結業績につきましては、システムソリューション事業が好調に推移したことやIBMよりRSS事業を譲受けたことなどから、売上高は前連結会計年度比15%増の4,036億93百万円、営業利益は前連結会計年度比47%増の158億85百万円、経常利益は前連結会計年度比66%増の148億67百万円、当期純利益は前連結会計年度比142%増の62億12百万円となりました。

## 事業別売上高構成比



※記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 1株当たり配当金の推移

(単位：円)

	2011年度	2012年度	2013年度
中間配当	3	4	4 (予想)
期末配当	4	4	4 (予想)
年間配当	7	8	8 (予想)

## 業績予想等について

業績予想及び配当予想については、2013年4月26日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ◆ 用紙を繰り返し再使用できる複合機システム「Loops」を発売

特殊なトナー(インク)で印刷した文字を消すことで使用済の紙を再利用するとともに、文字を消す際に文書を電子化して保存・活用できる「Loops (ループス) LP30/RD30」を今年2月に国内で発売しました。5月以降は海外各国での販売を順次開始していきます。

「Loops」は、用紙を繰り返し使用することで用紙製造に起因するCO<sub>2</sub>排出量を削減する、循環型社会に貢献するエコ・プリンティングです。例えば同一用紙を5回繰り返し使用した場合で本システムトータルのCO<sub>2</sub>排出量を約50%削減\*します。

環境への貢献と業務効率の向上を実現する「Loops」は、「働き方を変える」ことをコンセプトとした循環型ソリューションとして、オフィスの新しいワークスタイルを実現してまいります。



\*：「A4のPPC用紙を月に4,500枚、5年使用した場合」など、一定の条件化による当社試算です。(2013年3月時点)

## ◆ システムソリューション事業

### 事業の内容

国内市場向けPOSシステム、複合機、オートIDシステム及びそのソリューション関連商品の開発・製造・販売・保守サービス等

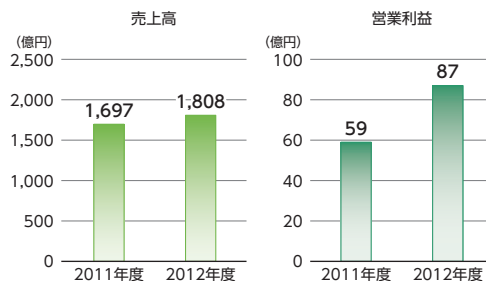
### 業績概要

#### ●リテール事業：売上増加

コンビニや専門店、飲食店向けでPOSシステム関連の売上が好調。また、バーコードプリンタ、同消耗品も好調。

#### ●オフィス事業：売上増加

コスト競争力のあるカラー低速複合機の販売が好調、MFP全体の売上が伸長。



## ◆ グローバルソリューション事業

### 事業の内容

海外市場向け複合機、POSシステム、オートIDシステム、プリンタ及びそのソリューション関連商品並びにインクジェットヘッドの開発・製造・販売・保守サービス等

### 業績概要

#### ●米州市場：売上増加

複合機、オートIDシステムの伸長に加え、IBMよりRSS事業を譲受けたことから売上増加。

#### ●欧州市場：売上増加

市況悪化に伴う需要減少及び為替の影響により即存事業の売上が減少したものの、IBMよりRSS事業を譲受けたことから売上増加。

#### ●アジア・その他の市場：前連結会計年度並み

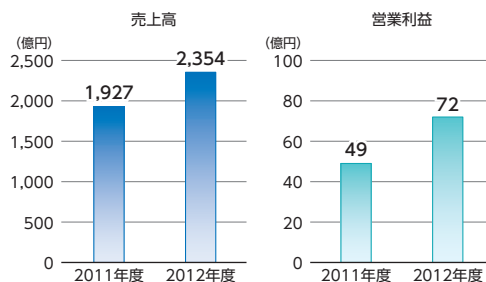
中国における市況悪化の影響により、即存事業の売上が減少したものの、IBMよりRSS事業を譲受けたことから売上は前連結会計年度並み。

#### ●ODM事業：売上増加

新規顧客向けの決済端末が伸長。

#### ●インクジェットヘッド事業：前連結会計年度並み

国内向け販売は減少したものの、海外向け販売が増加。



\*：①オートIDシステムとは、ハード・ソフトを含む機器により、自動的にバーコード、ICタグなどのデータを取り込み、内容を識別・管理するシステムをいいます。

②ODMとは、顧客ブランド製品の設計・製造を行うことをいいます。

## ◆ 携帯で簡単、電子レシートシステム「スマートレシート」を活用した「電子購買証明サービス」の開発に着手

当社は、株式会社博報堂と共同で、当社独自の「電子レシートシステム\*」を活用した「電子購買証明サービス」開発に着手しました。2013年度下期を目途に、消費者向け販促キャンペーンを行うメーカーや流通各社の協賛によるトライアル導入を実施する予定です。

開発中の「電子購買証明サービス」は、買物客が自分の携帯端末上の電子レシート画面に表示されるキャンペーンの応募アイコンをクリックするだけで購買証明が完了し、そのままキャンペーンサイトから簡単に応募登録ができる新しい仕組みのサービスです。



画面表示例① レシート画面の応募アイコン



画面表示例② メーカーのキャンペーンサイト

\*：通常は紙として提供される買上商品の明細レシートを電子化し、「電子レシートセンター」にデータとして記録、買物客は自分の携帯端末からレシートを検索し、いつでも表示できる仕組み。

## ◆ 東芝グローバルコマースソリューション社が次世代端末「TCxWave」を発売

東芝グローバルコマースソリューション社(TGCS)は、2013年4月の米国を皮切りに次世代端末「TCxWave」の発売を開始しました。

「TCxWave」は、専門店、飲食店から一般小売店舗まで、従来のPOSシステムとしての利用のほか、来店するお客様自身で操作するキオスク端末やセルフ・サービス端末として幅広く使え、あらゆる店舗環境での利用をサポートする次世代端末です。また、直感的なタッチ・インターフェースを搭載し、店舗内デザインを損なわない洗練された外観を実現しています。

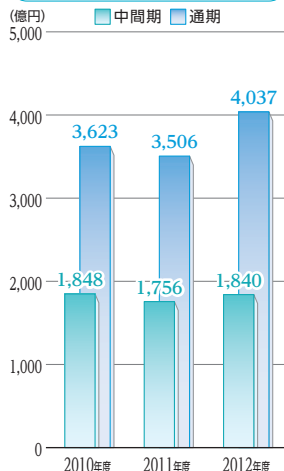
TGCSは、現在、40以上の国・地域で直接販売拠点を有し、約100の国・地域で営業活動を展開しています。「TCxWave」は今後これらのネットワークを活用し、グローバルに順次発売していきます。



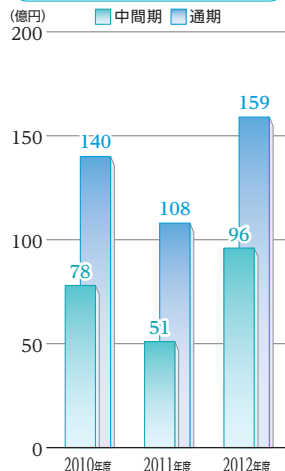
TCxWave

# 連結 決算ハイライト

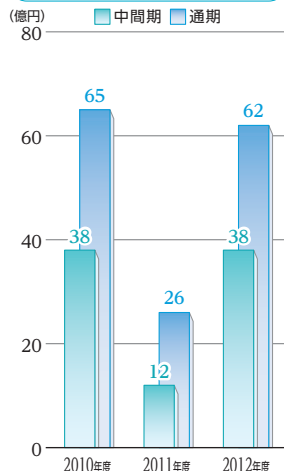
### 売上高



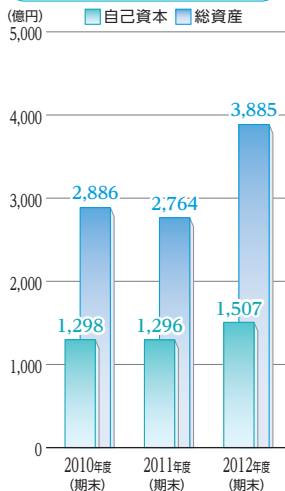
### 営業利益



### 純利益



### 自己資本／総資産



## 主要な経営指標等

区分	2010年度 通期 (2010年4月から 2011年3月まで)	2011年度 通期 (2011年4月から 2012年3月まで)	2012年度 通期 (当連結会計年度 (2012年4月から 2013年3月まで)
売上高 (億円)	3,623	3,506	4,037
営業利益 (億円)	140	108	159
経常利益 (億円)	106	89	149
当期純利益 (億円)	65	26	62
総資産額 (億円)	2,886	2,764	3,885
純資産額 (億円)	1,405	1,397	1,766
自己資本 (億円)	1,298	1,296	1,507
自己資本比率 (%)	45.0	46.9	38.8
1株当たり当期純利益 (円)	23.71	9.35	22.64
1株当たり純資産額 (円)	473.44	472.36	549.42
1株当たり配当額 (円)	年間配当 7	年間配当 7	年間配当 8
営業活動によるキャッシュ・フロー (億円)	233	162	265
投資活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△79	△95	△438(*)
財務活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△86	△134	△41
現金及び現金同等物の期末残高 (億円)	929	860	720

\*：RSS事業譲受による支出が335億円含まれています。

# 次期の見通し

## ◆ 次期の見通し

今後の世界経済は、欧州では緊縮財政の影響などから景気は低迷し、米国では緩やかな景気回復に留まるものと予想されます。一方、アジア等では景気は底堅く推移するものと予想されます。また、日本経済は、経済対策に伴う公共投資の増加や輸出の回復などから、景気は緩やかに回復するものと予想されます。

このような状況下で、当社グループは「グローバル・ワンストップ・ソリューション企業」を目指し、「グローバル化の加速」、「ソリューション・サービスの拡大」及び「高収益化に向けた企業体質改革」に、グループ一丸となって取り組む所存でございます。

なお、2013年度通期の連結業績予想は、上記方針等を踏まえて次のとおり見込んでおります。

### 2013年度通期の連結業績予想

区分	予想金額	前年度比増減率
売上高	4,700億円	+16%
営業利益	210億円	+32%
経常利益	190億円	+28%
当期純利益	65億円	+5%

※2013年度の為替レートに関して、対米ドル平均93円、対ユーロ平均120円を前提としております。

※上記予想については、2ページの「業績予想等について」をご覧ください。

# 会社の概況

## ◆ 会社の概要

(2013年3月31日現在)

商号	東芝テック(株) TOSHIBA TEC CORPORATION
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：9社／海外：79社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：20,517名／単独：3,735名
発行済株式総数	288,145,704株
自己株式数	13,827,203株
株主数	13,146名

## ◆ 役員 の 状 況

(2013年6月27日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役 取締役社長	鈴木 護	(社長執行役員)
取締役	犬伏 浩	(専務執行役員)
	山本 雅人	(常務執行役員)
	池田 隆之	(常務執行役員)
	平田 政善	(常務執行役員)
	市原 一征	(常務執行役員)
	竹谷 光巨	(常務執行役員)
	深串 方彦 (*1)	
監査役	池田 浩之	[常勤]
	北野 寛	[常勤]
	大内 猛彦 (*2, *3)	
	松本 俊彦 (*2)	

### 執行役員 (取締役兼務者を除く)

常務執行役員 菅生 俊

執行役員 松本敏史, 丹黒 浩, 川崎順一,  
財満冠典, 麻生伸一, 谷嶋和夫,  
坂邊政継, 野波英隆, 川村悦郎

\*1：社外取締役であります。

\*2：社外監査役であります。

\*3：東京証券取引所の定める独立役員であります。



当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報がご覧いただけます。 URL <http://www.toshibatec.co.jp/>

#### ■投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。



#### ■社会・環境活動 (CSR)

環境、社会貢献活動などのCSR活動をご紹介します。また、CSR報告書等も掲載しています。

## 株式事務についてのご案内


事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係 / 3月31日 期末配当関係 / 3月31日 中間配当関係 / 9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
	取次事務是三井住友信託銀行(株)の本店及び 全国各支店で行っております。

## 株主の皆様の声をお聞かせください


当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **6588**

 携帯電話からもアクセスできます  
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



 空メールによりURL自動返信  
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、約2ヶ月間  
(2013年8月31日まで)です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。  
※株式会社 a2media URL <http://www.a2media.co.jp/>

●アンケートのお問い合わせ[e-株主リサーチ事務局]  
TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30)  
MAIL: info@e-kabunushi.com



東芝テック株式会社は、国産材を積極的に使って日本の森林を育てていくことが大切だと考え、林野庁が推進する「木づかい運動」を応援しています。本書の制作により国産材が製紙原料として活用され、国内の森林によるCO2吸収量の拡大に貢献しています。



東芝テック株式会社は、環境に配慮して、再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油などの植物由来の油や、その廃棄油をリサイクルした再生油等を原材料にした植物油インキを利用し、本書を制作しています。

東芝テック株式会社  
<http://www.toshibatec.co.jp/>